

達生堂

社会医療法人達生堂 城西病院

消化器・内視鏡センターが始動



4月から常勤専門医が増えました



前田 浩史医師

消化器専門医・内視鏡専門医

今年4月、城西病院の常勤医師となりました。

出身は栃木県佐野市。鳥取大学医学部を卒業し、栃木、群馬、

茨城など北関東の病院で勤務してきました。

「人助けができる仕事だと、医師を目指しました」と話す前田医師。東京で工学系の大学に通っていたが「猛勉強して鳥取大学の医学部に入った」という。研修医として栃木県の日光市民病院に派遣されたとき、「その医師全員が内視鏡を扱えた。消化器専門でない医師も内視鏡を使い、止血処置を行っていた。当時の私にはとても素晴らしい技術を持っていると感じた。だからこそ、地方の小さな病院で命を助ける

ことができると思った」と、内視鏡専門医を取得しました。大学での専門は肝臓疾患で、肝がんの研究で学位を取得しました。消化器内科は、胃がんや大腸がん、肝臓、すい臓など多くの疾病に関連し、患者さんの多い診療科といえます。

地元に近い場所で働きたいと、北関東の病院に。城西病院で非常勤で勤務している時、藤田院長と大竹センター長の強い勧めもあり、常勤医師になりました。

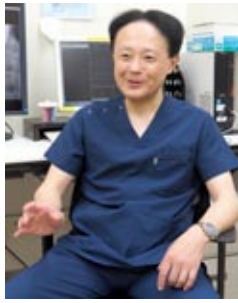
趣味はジョギング。約5キロをマイペースで走り、その後に一杯飲むのがとても好きといえます。野球が好きで、ジャイアンツファン。

城西病院

〒307-0001
茨城県結城市結城 10745-24
TEL 0296-33-2111

充実した医療スタッフと病院内外の連携を強化

城西病院は、これまで大学病院などの先端医療機関で行われていた消化器関連疾病の検査や治療の一部を行うため、消化器・内視鏡センター（大竹俊哉センター長）立ち上げました。健診や外来診療で消化器関連の異常が認められた時に、内視鏡などによってよ



大竹俊哉センター長

確な診断を行い、治療するとともに、自治医科大学付属病院や小山市民病院などの3次医療機関と密に連携を図り、患者さまに安全・安心な医療を提供する体制を強化しています。大竹センター長は「健診で異常を指摘された時や腹痛、血便、消化器系の異常など、外来とも連携して検査・治療に当たっています」と話しています。

城西病院は、日本消化器内視鏡学会の会員で、同学会から内視鏡専門家を育成する指導施設に認定されています。今年4月に消化器専門医の前田浩史医師が常勤医として入職しました。また、消化器内視鏡技師の免許を取得した看護師もそろいました。藤田善幸院長、外科の白川一男副院長の2人の内視鏡指導医、大竹センター長、前田医師の内視鏡専門医に医師2人を加え、看護師などスタッフも充実し、外来や城西総合健診センターなどとの連携を図る体制を構築し、消化器・内視鏡センターとして位置づけました。

人的充実に加え、機械設備も充実し、センターには最

新の内視鏡2機種を設置しています。これまで内視鏡先端のライトで照らして人の目で病変を確認していたものが、光デジタル法という、特殊なライトで病変を浮かび上がらせる技術を導入しました。これにより、小さな病変も検出することができ、早期発見、早期治療につながっています。

早期発見された食道、胃、大腸がんは、内視鏡での治療が可能です。城西病院で行う粘膜切除術（EMR）や粘膜下層剥離術（ESD）と呼ばれる治療法は、患者さまへの身体的負担が少なく、入院期間も短い内視鏡による治療です。進行がんは、外科などと協力し、外科的切除や化学療法が行われます。

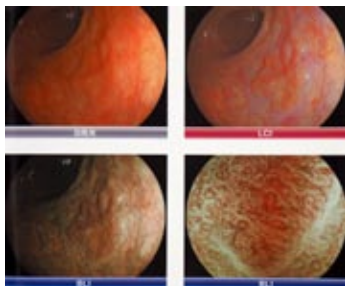
ERCP（内視鏡的逆行性胆管膵管造影）は内視鏡を使い胆管や膵管の状態を放射線科と連携して放射線を当てて調べ、胆道がんの診断やがんによる胆道閉塞の治療、胆管結石の治療などを行っています。内視鏡での治療に加え、外科との連携を強化し、消化管切除などの手術では患者様に負担が少ない腹腔鏡手術も行っています。

大竹センター長は「胃がんに関しては近年減少しているが、まだまだ多い。大腸がんは増えています。城西病院では分野別のエキスパートがそろい、センターとしての検査・治療体制が整い、さまざまな症例に対応していきます。大学病院などでしか行えなかった検査もセンターで行えるようになり、地域の人たちの身近な病院として機能を充実させていきます」と話していました。

進化する内視鏡技術

日本では、食道がんや胃がんなどが増加する傾向にあり、特に年齢が高くなるにつれて発生も増えています。

そうした状況の中、内視鏡を使うことにより、内視鏡先端から特殊な光を出すことでより病巣の確認がしやすくなりました。内視鏡によってポリープを摘出したり、止血することもできます。AIの活用などにより、より早期発見、早期治療に結びついて行くこととなります。



画像左上は、白色光を当てた状態。それ以外は、レーザー光など特殊な光を当て、粘膜や血管の状況をよりくっきりと浮かび上がらせている



達生堂グループ

2024年9月

社会医療法人達生堂 城西病院

社会福祉法人 達生堂

公益財団法人茨城国際親善厚生財団